

クロスワードタイム

いよいよ新年度です。クロスでリフレッシュしませんか。二重枠の文字を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compassの感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選でクオカードを贈呈します。

■ 〆切：5月25日(月) ■宛先：mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント：
おとめ座、しし座、おおぐま座…。
春の星々の物語を楽しめます

15x15 crossword grid with numbers 1-34 and some pre-filled letters.

ヨコのカギ

- 1. まぶしい合図を使い、情報を届ける、ガラスでできた細い糸。
8. 石けんやリップの箱に書いてあって、バイ菌を防いだり、肌を守る力がある。
9. 「いつも」を漢字一文字で書いた形。
10. インスタやフェイスブックを運営する巨大な会社。
11. とても大変ですが、人を成長させてくれるもの。
12. 高い崖から、水がまっさかさまに落ちる。
13. 底に穴のあいたバケツで、水を運ぶような行動。
14. 試合やライブのために、遠い街へ行くこと。
16. 真白な姿をして、真冬の夜に冷たい息で人を氷に変えてしまう。
18. 表彰状などで、二回目からの読み上げに使う、「中身はさっさと同じ」という便利な合図。

- 19. アイスの味や犬の姿など、違いで分けた仲間のこと。
20. 電車に乗るときや、映画を見るときに必要な。
21. 筆と墨を使い、紙に文字を並べる芸術。
22. 愛媛県の昔の呼び名が名前になった、冬の果物。
24. ブロが使う、すごくて細かなワザのこと。
25. 三重県にある、県の中心となる大きな街で、県庁所在地。
27. 相撲で、土俵の際から大逆転する技。
29. 和名は「すもも」で、紫色の皮をした、甘酸っぱい夏の果物。
31. パートなどで、一時的に子供を預ける場所。
33. ロシアの隣で、「白ロシア」とも呼ばれる、海のない国。
34. 身分の高い人が住む、立派で大きな家。

タテのカギ

- 1. 銀色のコイン1枚プラス10円で、ほとんどの物が買える店。
2. まとめのあとに、一つずつ細かく説明する部分のこと。
3. 子供は水の中で、大人は陸でも暮らせる生き物。
4. 「~に似ている」という様子を付け足す言葉。
5. カッコいい家、高いビル、大きいスタジアムのような、建物の図面を描くプロ。
6. ぐるぐる巻きにされた鉄の線で、押したり引いたりすると元の形に戻る。
7. にんにくや肉をたっぷり食べて、元気を出すごはん。
10. 一番の見どころや、中心になる大切な場所。
13. 耳をすませても、何も聞こえてこない状態。
15. ストレスなどで、お腹の中に傷ができる病気。

- 17. ころころと変わる、「心の天気」のようなもの。
21. カ士が土俵の上で、片足を高く上げて地面を力強く踏む動作。
23. 刃が丸くなったら、先をバキッと折って新しくできる、真っすぐに切るための道具。
24. オリニッピクや民主主義が生まれた、ヨーロッパ文明のふるさと。
26. 楽器が奏でる、美しく整った音の響きやメロディ。
28. 相手をからかったり、反対意見をぶつけて、その場の空気をかき乱すこと。
30. 物事が一定ではなく、できあがりにバラつきがあること。
32. 仕事や勉強、家事などから解放された、自由な時間。

Vol.838クロスワード 正解と当選

答えは「タスマニアデビル」でした。

15x15 crossword grid with the solution 'タスマニアデビル' filled in.

多数のご応募ありがとうございました。
当選者の方々にクオカードをお送りいたしました。

- 石川学、竹内崇裕、藤村節子(アサヌマ)、
加藤修、加藤嵩人(安藤ハザマ)、
石橋崇司、伊庭花子、川上修一(奥村)、
千島孝太、野田龍之介、樋口真弓(東洋)、
岸野たか子、古賀良太、佐伯昌治、清水友子、白井 遼、
中村快子、中山慎也、西生賢司(戸田)、
泉澤志保(野村)、川村友也、谷本順久、水野龍平(フジタ)、
梅田直樹、清水実香、東田雅夫(松村)、阿久津昂平(宮地)、
荒川淳平、岡本雅世、角谷明俊(横河) <敬称略>

編集後記

早いもので2026年も4月となり、多くの職場では新年度を迎えられたことと思います。春の訪れは、私たちの気持ちを「新たな一歩」へと向かわせてくれる不思議な力があるように感じます。役割や環境が変わり、期待と不安が入り混じる時期かと思いますが、前向きに歩みを進める組合員の皆さんを心より応援しています。

今号は、海外企画、再発見!「4週8閉所ステップアップ運動」、出前講座、ニッポン縦断!建設産業魅力発信イベントなど、盛りだくさんの特集を掲載しています。海外企画では、海外で活躍する加盟組合員の皆さんが、現地で出会った、心ときめく「風景・文化・日常」を紹介しています。また、再発見!「4週8閉所ステップアップ運動」の記事では、この運動の経緯や意義、「4週8閉所指数」の意味などをわかりやすく解説しています。

出前講座の特集では、7大学528名が受講した講座の様子を紹介しています。講義後のアンケートからは、学生が抱くゼネコンへのイメージの変化や、2年連続で希望就職先首位となったことなど、学生の生の声が見えてきました。あわせて、将来の担い手確保に向けた小学生向け授業の様子や家族向け魅力発信イベントの概要も掲載しています。

最後に、機関誌「Compass」は、日建協活動への理解を深めていただくための重要な広報媒体です。今後も皆さんに役立つ情報を発信していきますので、引き続きご愛読よろしくお願ひします。

もや 筋い

今から14年前、知人の家で子犬が生まれたという知らせをきっかけに、我が家に2つの小さな命がやってきた。ミニチュアダックスフンドの兄妹だ。同じ日に生まれた5匹のうち、この2匹を迎え入れた。平日の世話は家族で分担しているが、週末の休日、彼らの散歩や食事の面倒を見るのは私の専属の役割となっている。この時間は、私にとって最も心穏やかなひとときである。

犬と暮らすメリットは、教えきれないほどたくさんある。仕事でどれほど疲れて帰宅しようとも、オスの兄は全力で尻尾を振って私を迎えてくれる。その純粋でひたむきな姿は、疲弊した心を瞬時に癒やしてくれる特效薬だ。また、朝夕の散歩を通じて、私も彼らに合わせて規則正しい生活を送ることができ、自然と運動不足も解消される。

子犬から成犬になる頃は、往復2時間かけてたっぷり散歩を楽しんだものだ。しかし、14年という月日を経て、彼らも高齢犬となった。最近は長時間歩くことが負担に

なるため、散歩スタイルも変化した。今では、ママチャリのチャイルドシートに2匹を乗せ、公園まで運び、そこで適度な散歩をさせている。移動中、外の景色を眺める彼らの様子はなんとも愛らしく、ほっこりさせられる。

性格も個性豊かだ。兄は温厚で穏やかだが、同時に臆病な一面もある。一方、妹の方は人懐っこいだけでなく、実はかなりのちゃっかり者だ。おやつを貰う瞬間だけ、サッと「お手」をする要領の良い特技の持ち主である。さらに彼らは頼れる警備員でもある。夜中に招かれざる小さな虫が潜んでいれば、その場所に向かって低く唸り、そっと危険(?)を教えてくれる。

そんな彼らへのお礼として、私たちは愛情を込めたケアを欠かさない。月1回は家でシャンプーをし、伸びた毛を切り揃えていく。これも、大切な家族だからこそ愛情表現だ。

これからも彼らが健康で幸せに過ごせるよう、大切に守り続けていきたい。(シニア犬の執事)